

第5回近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議 会議録

<開催概要>

日時：令和7年2月12日（水） 15時00分から16時30分まで

場所：宇治市役所 8階大会議室

<出席者（敬称略）>

座長 青山 公三

副座長 岡井 有佳

関係団体委員 辻 有紀・山口 陽二・石川 秀一・森下 康弘・多田 重光

行政委員 正木 利一・松永 弘道・中島 直樹

事務局 松村 淳子（市長）

米田 晃之（都市整備部長）・飯田 克夫（建設部長）

脇坂 英昭（産業観光部長）

桂 省吾（産業観光部参事）

藤井 康博（都市整備部副部長）

中本 洋（都市計画課長）・木田 健士（道路建設課長）

馬場 隆（産業振興課長）・倉辻 崇秀（交通政策課長）

木田 陽子（観光振興課長）

内藤 良（都市計画課副課長）

大西 礼恵（都市計画課主任）・人見 僚一（都市計画課主任）

阿部 章蔵（都市計画課主任）

<欠席者>

副座長 大庭 哲治

関係団体委員 高松 靖司・足立 高広・吉田 美恵子

<傍聴者数（報道含む）>

7名

<会議次第>

1. 第4回推進会議（R6.11.11）の振り返りと今後の予定について

2. まちづくり基本計画（素案）に係る意見聴取の結果及びまちづくり基本計画（案）について

（会議資料）資料-1 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画の検討について

資料-2 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画（案）

参考資料 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画（素案）まちづくりオープンハウス
及び地域説明会の結果概要

<会議概要>

《1. 第4回推進会議（R6.11.11）の振り返りと今後の予定について》

青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は、皆様から忌憚ないご意見をいただき、まちづくり基本計画の詳細について検討していきたいと考えています。 ・ 第4回推進会議（R6.11.11）の振り返りと今後の予定について、事務局にて説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈資料説明〉
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の説明に関し、ご意見・ご質問があればお願いします。→意見なし

《2. まちづくり基本計画（素案）に係る意見聴取の結果及びまちづくり基本計画（案）について》

青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり基本計画（素案）に係る意見聴取の結果及びまちづくり基本計画（案）について、事務局にて説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈資料説明〉
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の説明に関し、ご意見・ご質問があればお願いします。
辻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向島第5号踏切東西の歩道が途切れているが、京都銀行移転後にどのように道路が整備されるのか決まっていれば教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路建設課で踏切の東西道路整備の検討を進めている。踏切西側は市道、東側は府道となっており、府と連携して整備を進めることになる。府道側は北側に歩道を整備する方針と伺っており、京都銀行の移転に伴い、市道側の拡幅も検討している。
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成はいつ頃の予定か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都銀行移転にあわせ拡幅用地の調整を行うため、京都銀行の移転完了時期による。なお、京都銀行の移転は来年度完了を目指しているとのことである。
山口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者との協議状況を教えてほしい。 ・ 跨線自由通路の完成時期を提示してほしい。 ・ 実証運行中のバスの運行時間とルートについて、地域の方々も利用しやすいように、もう少し早い時間帯からの運行、市役所へのバスルートの確保を検討してほしいとの声が地元から上がっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進会議資料を地権者に提示し、会議の進捗状況も報告しており、まちづくり基本計画の内容についてもご理解いただいている。また、今後の事業を進めるための各種調査を実施することについても了承を得ている。 ・ まちづくり検討委員会でまちの将来像・課題を検討し、跨線自由通路の整備を軸に検討を進めることとなった。鉄道事業者とも調整しながら検討を進めているところである。
山口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者に対して十分に説明できているようで安心した。 ・ 跨線自由通路の完成時期を明確にしなければ、いつまでも完成しないと思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跨線自由通路は駅前広場の整備と一体的に事業化を進める必要がある。概ね2年程度で駅前広場の整備の事業化に向けた行政手続きを行う予定である。
石川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年7月にバスの実証運行を開始し、10月のニンテンドーミュージアムのオープンに伴い運行時間帯を拡大した。実証運行期間は当初2月28日までとしていたが、実証運行を継続する予定である。現状では採算をとるのは難しいと考えられる。また、運転手が不足している中、現行の時間帯であれば既存路線への影響なく運行できる。
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な話にはなるが、運転手不足の解消のため、自動運転バスの導入も視野に入れて検討してほしい。
正木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画（案）における道路名について、府道及び市道の記載にばらつきがあるため、「府道～線」、「市道～線」に統一してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月の基本計画策定に向け、記載を統一する。
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンハウスにて跨線自由通路のエスカレーター設置についてのアンケートを実施しているが、跨線自由通路にエレベーターを設置することを伝えた上でアンケートを実施したのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターを設置することを伝えた上でアンケートを実施した。

青山座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に、今後のまちづくりについて一人ずつご意見をいただきたい。
辻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアムのオープンにより、以前よりも観光客が増加している。観光客が良いと感じる駅前に協力していきたい。 ・ まちづくり基本計画に策定する内容は、現段階で考えられる最善のものであると思うが、その内容がいつまでも最善であるとは限らないので、できるだけ早急に整備を進めてほしい。
山口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本推進会議では、町内連合会として意見や要望を提示してきた。 ・ 数十年を経てやっと動き出したまちづくりの計画だが、実現可能性を考慮して跨線自由通路案を選択したのであれば、できるだけ早急に整備を進めてほしい。
森下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の増加により地区内が混雑している中で、小倉駅にシェアサイクルポートを設置しない方針となった。 ・ 跨線自由通路や向島第5号踏切付近の整備などにより駅東西を安全に移動できるようにできるだけ早急に整備してほしい。 ・ 駅前整備に伴い、人・自転車・自動車の動線をしっかりと検討してほしい。
多田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアムのオープンにより、宇治に新たな観光コンテンツが増えた。外国人観光客が増加したが、完全予約制の導入や定休日を設けることなどにより、混雑しすぎているとは感じてい

	<p>ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアムを目的に訪れた観光客が周辺の観光地（平等院など）にも足を運んでいる。海外、国内のどちらからの観光客にも優しいまちになることを期待している。 ・ バスに乗って楽しめる謎解きゲームの取り組みが周遊観光の活性化に繋がっていると感じている。
石川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東口駅前広場の整備に期待している。京都京阪バスと自治体とで連携し、地域住民を支えていきたい。
正木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアムは、京都府内でも注目される観光スポットとなっている。 ・ 観光客だけでなく、地域住民が住みやすくなるまちづくりをしていただき、京都府内での成功事例になるよう期待している。
松永委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアム・旧大和街道などの地域資源を活かし、交流人口の拡大や地域活性化に繋がるよう期待している。小倉地域の拠点として、他の地域との連携を図り、宇治市の発展に繋がればと思う。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニンテンドーミュージアムのオープンによる違法駐車増加を懸念していたが、今のところ大きな問題は発生していない。しかし、駅東口に商業施設が立地すれば交通量が更に増加するため、立体駐車場の設置などによる駐車スペースの確保を検討してほしい。
岡井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前整備が少しずつ進んではいるが、地域住民は早急な整備を望んでいるようである。 ・ 現段階で検討した整備方針が今後も最善であるとは限らない。将来を見据えながら、今後の検討を進めてほしい。 ・ 自動車ではなく、歩行者中心の都市空間・道路空間を目指してほしい。大きな駐車場を整備するのではなく、公共交通を利用しやすくなるような取り組みが重要である。ただし、バスの運転手不足などの課題もある。 ・ オープンハウスのアンケート結果より、駅周辺エリアには地域住民が集まって話すことのできる空間（地域コミュニティに資する空間）づくりが求められていることがわかる。また、小倉地域には古くからの茶問屋があり、これらの地域産業を活かすことも重要である。例えば、お茶のアンテナショップ単体では採算をとることは難しいと考えられるため、駅前の民間施設の一部に地域コミュニティに資する空間や地域産業の推進に資する施設を導入していただき、そのインセンティブとして容積率を緩和することも考えられる。 ・ 今後数年で駅前整備が完了予定だが、整備完了後にまちをどう育てていくのかが重要である。エリアマネジメントを実施することがで

	<p>ければ、より魅力的なまちになると考えられる。</p>
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> • 岡井委員の意見のとおり、エリアマネジメントを視野に入れてまちづくりを進めていくことも重要である。 • 2018年に小倉地区の建物調査をはじめた頃は、本地区の整備が何年も進んでいない旨を地域住民の方々から何度も聞いたが、アンケート調査やワークショップを進めていく中で、整備に対する前向きな意見が少しずつ増えていった。中高生を対象としたワークショップも行ったが、その生徒達が将来戻ってきたくるようなまちを目指し、着実に整備を進めてほしい。 • 今後は、歩行者と自転車の棲み分けの検討が重要となる。 • 本推進会議で意見を出しているだけでは、ここまでまちづくり検討が進むことはなかった。宇治市職員が地域と積極的にコミュニケーションをとってきたからこそ、この計画に繋がっていると感じている。 • 京都府立大学の研究でここまでまちづくりが進んだ事例は他になく、大変嬉しく思う。
青山座長	<ul style="list-style-type: none"> • これにて議事を終了させていただく。参加いただいた委員の皆様へ、改めてお礼申し上げます。 • 進行を事務局にお返しさせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • これにて近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議を終了させていただく。